



備えの大切さと食への感謝

市内各公立保育園で「災害時給食」の実施

9月6日、1日の「防災の日」にちなみ、市内各公立保育園で地震発災時、電気ガス等が使用できないことを想定した避難訓練が行われました。下根保育園では、味付きカツオブレークを乗せたアルファ化米白飯と乾物使用の味噌汁など備蓄品を使用した給食が子どもたちに提供されました。子どもたちは災害時でも給食が食べられることへの感謝や日ごろからの備えについて学びました。



スポーツでうしくを盛り上げよう

つくばユニテッドサンガイアとの包括連携協定を締結

8月20日、市は一般社団法人つくばユニテッドサンガイアとの包括連携協定を締結しました。この協定は双方の活動を通じて地域スポーツ、青少年の健全育成、健康増進、市民交流や地域振興などを目的とした協定です。

包括協定活用の第一弾として、11月17日(日)に「牛久市民DAY」の開催が予定されています(本紙15ページに掲載)。



県代表で全国大会へ

第33回全日本ドッジボール選手権茨城県大会優勝

小学生ドッジボールチームST Enjoys が、「第33回全日本ドッジボール選手権茨城県大会」で優勝し、8月8日にその報告のため沼田市長を表敬訪問し、選手たちは全国大会への意気込みを報告しました。同チームは8月18日には「第33回夏の全国小学生ドッジボール選手権」に出場し、目標である決勝リーグ進出を決めました。



本が大好き、司書体験

「夏休みこども司書体験」実施

中央図書館で8月20・22・23日に、小学生9人が「こども司書」として、カウンターでの利用者の対応、図書の整理、本のフィルムコートなどを体験しました。23日に参加した弦巻莉奈さんは、「本を読むのが好きで、将来は本に関わる仕事をしたいと思っているのでとても勉強になりました」と話していました。



アゲハチョウくらいの比較的大きな蝶で、あまり人を恐れずゆっくりと優雅に羽ばたく様子や羽根の美しいまだら模様特徴です。渡りをするチョウとしても有名で、季節の変化に伴い、南西諸島や東南アジアで越冬したものが世代交代を繰り返しながら北上し、夏は本州の山地や北海道で繁殖します。また、秋には日本列島を少しずつ南下し、南西諸島や東南アジアまで渡りますが、牛久では秋の渡りの時期にキク科のヒヨドリバナやフジバカマの花で吸蜜する様子がよく見られます。羽根の白っぽく見える部分は鱗粉がなく、日本の伝統色の淡い浅葱色に見立てて名前の由来になっています。



しぜん
大好き
～牛久の生物～

アサギマダラ
(浅葱斑)

チョウ目タテハチョウ科



スポーツを通じた楽しいイベント プロ野球イースタンリーグ公式戦開催

9月7日、牛久運動公園野球場で「プロ野球イースタンリーグ公式戦」が開催されました。当日はスポーツをツールにした地域交流「放課後ボールパーク」や、小・中学生の肘検診に200人が参加。牛久栄進高校による小児がん・ケア支援など、さまざまなイベントが開催され、多くの人でにぎわいました。

また、県内の市町村がご当地グルメの頂点を競い合う

「シン☆いばらきメシ総選挙」の牛久代表「IBARAKIちゃんこ麺」と「焼芋アイス」が出店しました！

【シン☆いばらきメシ総選挙2024事前投票実施中】

詳細は本紙4ページをご覧ください。



奥野再発見!! の絵本、ぜひお読みください おくの地区社協会員、絵本を発行

「奥野地区の再発見」をテーマに書かれた絵本があります。それはおくの地区社会福祉協議会員の飯田昭夫さんが書いた、タイトル「うしくでびっくり！シリーズ」。この本は、奥野のりんごから始まり、鎌倉権五郎など奥野地区にまつわるものが題材に書かれ、全40冊あります。絵本を作るきっかけとなったのは区長を経験したこと。地域おこし、地域愛を育てるために奥野地区を取材・調査し、絵本を作るようになりました。飯田さんは、この本でおくの義務教育学校で読み聞かせを行っていて、「手に取り、読み手の感性が子どもたちに伝わり、はじめて絵本が完成します。ぜひ読んでほしい」と話します。



本は中央図書館、奥野生涯学習センターなどに置いてあります



牛久市の 美味しい 給食

問 教育総務課
☎内線3334

学校給食からおすすめ
メニューをご紹介します
〈牛久南中学校より〉



パンにもご飯にもあうおかずです。

パンにはさんで食べても美味しい、子どもたちに人気のメニューです。

【材料】(中学生4人分)

豚こま肉……………200g	A	ケチャップ… 大さじ2
たまねぎ……………中1個		ウスターソース 大さじ1/2
にんにく……………1/4片		コンソメ …… 小さじ1
しめじ……………1/4株		砂糖……………ひとつまみ
パセリ……………小さじ1/3		塩……………少々
サラダ油……………小さじ2		こしょう ……少々

ポークチャップ炒め



【作り方】 1人分160Kcal 塩分0.72g

- ①たまねぎはスライスし、しめじは石づきをとってバラバラにしておく。
- ②フライパンにサラダ油とおろしにんにくを入れ火にかけて、豚肉を炒める。
- ③豚肉の色が変わったら①を加える。
- ④野菜に火が通ったら、Aの調味料で味を調え、パセリをふりかけ完成。

美味しい給食レシピは市ホームページにも掲載しています▶



少年たちが育てたブドウで牛久産ワイン

茨城農芸学院で牛久シャトーワインのブドウ収穫

牛久シャトー株式会社と久野町にある矯正施設・茨城農芸学院が連携し、同施設では牛久シャトーで醸造するワインの原材料になるブドウを栽培しています。

8月26日、院生と沼田市長や牛久シャトー関係者によるブドウ収穫が行われました。収穫されたブドウ(品種:メルロー/約1500kg)は、選果された後牛久シャトーで醸造され、来年春に牛久産ワインとして店頭に並び予定です。作業に参加した院生は「愛を持って育てたブドウがワインになって、多くの人に届くのが楽しみ」と話していました。



佐々木選手の活躍に拍手喝采！

パリ2024パラリンピック ブラインドフットボール
日本代表・佐々木ロベルト泉選手を応援

9月1日(日)、パリ2024パラリンピック ブラインドフットボールに出場する佐々木ロベルト泉選手を応援するため、市役所でパブリックビューイングを行いました。ブラインドフットボールは音の出るボールを使用して行う競技。参加者の中には耳を澄ませて観戦する方の姿が見られました。また、佐々木選手の迫力あるプレーで会場は盛り上がりを見せ、試合終了後、集まった人たちは感動の拍手を送りました。



シャトーの歴史に触れ、考える

神谷小4年生牛久シャトー見学会

9月11日、神谷小学校4年生が牛久シャトー見学会を実施しました。この見学会は牛久シャトーの歴史を知り、良さについて考えることを目的とし、子どもたちは市職員の説明を受けながら施設内を見学しました。伊藤^{あおい}蒼尉さんと神原^{かんばらし}珠^{ゆな}さんは「学校で事前に学習して分らなかったことも牛久シャトーに実際に来て理解することができた。傳兵衛さんの資料がおもしろかった」と話しました。



いざという時のために基本を確認

牛久市消防団ポンプ操法統一訓練

9月8日、牛久運動公園で「牛久市消防団ポンプ操法統一訓練」が実施されました。これは消防の基本動作について、全分団が共通の技術を身に付けるための訓練です。災害現場で安全な作業を行うため、自動車ポンプ、可搬ポンプを使用し、操作方法など細部に至るまで正しい手順を確認しました。



寄附・寄贈

温かい善意ありがとうございます

株式会社マーシェルから

●市立幼稚園、小・中・義務教育学校へ子ども用マスク
3万枚を寄附

